

Shipping Guide

木

日刊(土・日曜、祭日休刊) 昭和50年12月20日 第3種郵便物認可 1部416円
発行所 株式会社 オーシャンコマース 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目2番11号(葵ビル)
TEL: (03)3435-7470(編集)・7510(広告・スケジュール)・7630(販売・総務)
FAX: (03)3435-7892(編集・広告・スケジュール) ☎: 0120-827-773(購読・書籍のお問い合わせ、申し込み)

(4)

SHIPPING GUIDE, Thursday, December 15, 2016

< 第三種郵便物認可 >

横浜発モスクワ向けTSR利用でテスト輸送

TSIOAJ | 日数ほぼ3分の1達成でサービス本格展開

日本トランスシベリヤ複合輸送業者協会 (TSIOAJ、会長：栞田建二郎日新取締役常務執行役員) は40'コンテナよるシベリア横断鉄道 (TSR) 利用のモスクワ向けテスト輸送を11月28日横浜港出港船で開始、ロシア・ポストチヌイから今年9日に高速コンテナ列車“バイカルシャトル”が発し17日にモスクワに着く予定。輸送日数は約20日を見込み、海上輸送のほぼ3分の1近くの達成が可能とみている。TSIOAJでは、運賃面でも海上輸送との競争力は十分あるとして、今回のテスト輸送の結果をもって今後コマースベースでの顧客サービスにつなげていく。

テスト輸送は、日ロ間の海上コンテナサービス (JTSL) の内地ファーストポートの横浜港でFESCO船“Katrina”に積み出港、清水、名古屋、神戸、富山を

経て今年5日夜にロシア極東のポストチヌイ港に到着と、輸送日数に関してあえてハンディを負わせるかたちで試みた。

8日はポストチヌイコンテナターミナルから貨車でマーシャリング駅 (ナホトカ・ポストチヌイ駅) に移し9日午前2時26分に“バイカルシャトル” (モスクワ駅まで7-8日間と客車並みのスピードで画期的とされる) 便に積み込み出発。

現地時間13日午前8時49分にイルクーツクから西北約300kmのジマ駅を通過しており17日にモスクワに到着予定。トータル日数は19日だが、ファーストポートの横浜からのもので、富山積みだとするとさらに4-5日は短くなる。

今年5月にトランスシベリア復興調整評議会 (CCTT)

(FESCO) とロシア鉄道との提携で海上と鉄道のコンテナを相互補完的に共有/利用の便宜が図られていたが07年以降は提携解消でFESCO、ロシア鉄道が独自にコンテナ輸送を展開中。今回は事実上ロシア鉄道の

とTSIOAJ共催で開いた東京フォーラムでアクションプランの一つとしてテスト輸送に合意していた。TSIOAJでは「海上輸送と比べ運賃競争力があり、かつ輸送日数も今回のような厳しい条件下でも海上輸送のほぼ3分の1が達成されようとしており、今後の飛躍的な物量の増加が見込まれる」としている。

過去にはロシア船社



コンテナをFESCO船に積むという過去の相互乗り入れをテストするのも狙いだった。TSIOAJとCCTT事務局では日欧間のSLB再興とともに技術面、運賃、日数などでさらに対応を検討中という。